



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち

# とままえ

# 9

No.625



## まちびと 百景

### ふくしまキッズととままえキッズが交流!

とままえげんキッズ実行委員会が本年初めて実施した福島県の小中学生を受け入れる「ふくしまキッズ」。

福島県の子どもということもあり、最初は身構えていた運営者たちの心配を吹き飛ばすような元気な子ども達に接することができひと安心。

お寺に泊まったり、農業・漁業体験をしたりと苫前町ならではのプログラムでお出迎え、そこにとままえキッズも加わって、互いの交流を深めたが、最高のおもてなしで迎えることができたのではと感じた。

- 学びの寺子屋ほか … 2
- 乳牛共進会ほか … 3
- 本町の少年剣士が躍動ほか … 4
- 苫前・古丹別ふるさとまつりほか … 5
- 国民年金・川柳 … 6
- 健康ばんざい … 7
- 学びの広場 … 8
- 介護保険ガイド … 9
- 住まいる情報 … 10～11
- ちびっ子ギャラリー … 12

### まちの人口

人口/3,503人(男/1,659人:女/1,844人)  
世帯数/1,652世帯 (8月31日現在)

URL:<http://www.town.tomamae.lg.jp>

## 家庭での学習の習慣づけのために ～本年度も学びの寺子屋を実施～

7月29日(月)に公民館・とままえ温泉ふわつとで学びの寺子屋が開催され、3日間で小学生延べ199名が参加した。

古丹別地区での冒頭の挨拶で池田文敏教育長は「この学びの寺子屋は家庭で学習するきっかけづくりの一つとして実施しているので、ぜひ家庭で習慣づけしていただくようお願いしたい」と挨拶した。

本町の学校教育支援員の清水水照二さんと堀井武道さんのほか、町内小中学校教員もアドバイザーとして同事業に協力、参加者のわからないところのアドバイスを行った。

参加者は約2時間冷房の効いた会場で、自分の持ってきた課題を早く終わらせようと真剣な表情で机に向かっていた。



## 風力水素フォーラムを本町で開催 ～森町長も登壇～

7月30日(火)とままえ温泉ふわつと及び風来望近辺で風力水素フォーラムが、町内外より約50名の参加で開催された。

風力水素とは風力エネルギーで水電気分解装置から水素を製造するもので、本町をモデルとして施設のポイラーや燃料電池自動車などへの活用の可能性を協議した。

森町長は「売電契約期間の終了が迫っている風車から水素を生産し、町内で様々な形での地域還元ができないか」と将来のビジョンを語った。

また、札幌市のフレインエナジーの小池田章代表も「この苦前方式を確立させ、地元の人が「宝」として認識していけるよう努力していきたい」と述べた。

この後、風来望周辺で移動式水素添加装置の公開運転も行われ、参加者が説明を受けた。



## 福島県の小中学生を苦前町で受け入れ ～とままえGENKid's実行委員会～

とままえげんキッズ実行委員会(渡部和人実行委員長)が福島県に居住する小中学生の受け入れを7月30日から8月1日まで及び8月6日から8月8日までの計2回実施した。これは「ふくしまキッズ実行委員会」が行っている福島県に居住する子ども達を福島第一原子力発電所事故の影響から守るため、学校の長期休暇にあわせて、全国各地で様々な野外・生活体験などを行う事業の受け入れに留萌観光協会が参加、これまで子ども対象の事業の自転車ツーリングなどを実施していた本町商工会青年部に目を付け、留萌市で8日間の受け入れのうち3日間を苦前町で受け入れを依頼したものの。

6月12日(水)に町商工会がJ A 苦前町や北るもい漁業協同組合苦前支所などに協力を



呼びかけ、両青年部長ほか8名で実行委員会を組織、町内の受け入れ体制やプログラムなどを協議してきた。

福島の子ども達によい体験そして苦前町を体感してもらおうと、J A 苦前町青年部は2日目の農業体験を、北るもい漁業協同組合青年部は3日目の地引き網を担当。宿泊場所は、なかなか泊まることのできないところとして古丹別の広円寺住職の松岡満雄氏に協力を依頼、松岡さんも「福島の子ども達のためなら」ということでお寺の開放を快く引き受けてくれた。また、福島の子ども達と仲よくなるという目的で、地元小学生も募集し、2日目以降のプログラムに参加できるよう配慮した。

1回目では、福島県の小学

生37名を受け入れ、初日・2日目は雨のため農業体験は無事に行ったものの、イカダ・川遊びは実施できず、公民館でレクリエーションを行うなど若干の変更をしながらも無事に終了。2回目も小中学生37名を受け入れ、雨の心配もあつたが農業体験、イカダ・川遊び、地引き網体験を無事実施することができ、両日とも福島の子どもと本町の子どもあわせて44名が事業を通して友情を深めることができたようだ。

事業を終了して、渡部実行委員長は「初めての試みなのでも不安だったが、各産業団体や町内事業所、町の協力やバックアップなどのお陰で無事終了することができてホッとしている」と達成感いっぱい表情で話してくれた。



## 審査委員も悩むほどの難しい審査に ～平成25年度(第60回)苫前町乳牛共進会～



審査は未經産牛・経産牛それぞれ4部門に分け、本年度審査委員の北海道ホルスタイン農業協同組合の小泉俊裕企画担当次長が体貌と骨格、肢蹄、乳器など総合的なバランスがとれているかを見ていたが、今年は良い乳牛

8月2日(金)に上平共同利用模範牧場で、平成25年度(第60回)苫前町乳牛共進会が開催され、町内の酪農家5戸3団体が自慢の乳牛31頭を出陳した。  
冒頭の挨拶で森町長、間宮英明町議会副議長は「町内の共進会で優秀とされた牛は、道北大会や全道大会でも良い成績を収めているため、非常に楽しみである」と挨拶し、審査が始まった。

が多く出陳されていたこともあり、審査員も頭を悩ませていたようだ。  
今回の結果は次のとおり。

各 部	名 号	出 陳 者
第1部未經産牛(6ヶ月～12ヶ月未満)	ウイング スパークリング パール	伊藤 雅史
第2部未經産牛(12ヶ月～14ヶ月未満)	クレスト エンジェル ラブ アイオーン	中嶋 卓広
第3部未經産牛(14ヶ月～18ヶ月未満)	クレスト チュンキー リークリング	中嶋 卓広
第4部未經産牛(18ヶ月～22ヶ月未満)	ウイング シークレット ヒル ウイン	伊藤 雅史
第5部経産牛(30ヶ月未満)	ウイング アスター ネオ	伊藤 雅史
第6部経産牛(30ヶ月～36ヶ月未満)	TDC デストライ メビウス	苫前町デイレークラブ
第7部経産牛(36ヶ月～48ヶ月未満)	フォーカスト アレキサンダー チャーミー	丹羽 秀樹
第8部経産牛(48ヶ月以上)	TDC オンワード メモリー	苫前町デイレークラブ
最高位賞(未經産牛の部)	ウイング シークレット ヒル ウイン	伊藤 雅史
最高位賞(経産牛の部)	フォーカスト アレキサンダー チャーミー	丹羽 秀樹
ベストプロダクション賞	ウイング パーンズ フィーバー	伊藤 雅史
ベストプロダクション賞	V ドルマン ヘイセン	佐藤 友樹

## 今年は雨にあたらずホッ！ ～JA苫前町青年部主催の農協夕市～

「ささやかですが、今日1日楽しんでいってくださ」と挨拶、開会した。  
同青年部の清水勸一部長が「ささやかですが、今日1日楽しんでいってくださ」と挨拶、開会した。

8月3日(土)にJA苫前町青年部主催の農協夕市がJA苫前町駐車場特設会場で開催され、多くの人で賑わった。  
過去2回は雨に当たり、雨天の中のイベントだったが、今回は曇りだったが、雨に当たらず開催することができた。



## 負けられない熱い戦いに！ ～町民ソフトボール大会～



なお、最優秀選手に雪組ソフト部の宮川洋幸さん、最優秀レディースにはビック・ピーチの古林千種さんが選出された。

8月4日(日)町野球場において町民ソフトボール大会が町内から5チーム名が参加し、開催された。  
敗者復活戦ありのトーナメント戦で実施された大会では、1試合40分間と時間を短縮して行われたこともあり、参加チームにとっては少しハードスケジュールな中、行われた。  
青空の行われた試合は、勝利をめざし熱い戦いが繰り広げられたが、昨年優勝の雪組ソフト部が1回戦でも対戦したビック・ピーチを再度下し、優勝を手にした。

## 三浦綾子記念文学館特別研究員による講演会開催

講演会は三浦綾子記念文学館特別研究員の森下辰衛さんが務め、三浦さんの著書の中でも苫前町でのエピソードが書かれているものなどを中心に、三浦さんの生涯について説明した。  
森下さんは「草のうた」の中で当時小学4年生の三浦さんと旅芸人、酌婦との関わりからあたたかさと寂しさをこの苫前町で学び、それが三浦文学のルーツとなったことは素晴らしいと語っていた。

8月8日(木)に郷土資料館で、作家の三浦綾子さんに関する講演会「三浦綾子と苫前町」が、町内より約30名の参加で開催された。  
これは三浦さんの両親、祖父父母が苫前町に住んでいたことで、7月29日から8月25日まで同館で特別展「三浦綾子の少女時代」を開催しており、その一環として実施された。



## 本町の少年剣士が躍動！ ～道北・全道クラスの剣道大会で入賞～

苦前剣道スポーツ少年団と古丹別剣道スポーツ少年団の団員が大活躍した！  
8月4日(日)石狩市で開催された平成25年度B&G北海道ブロックスポーツ交流交歓会剣道の部の個人戦小学生の部で苦前小6年の清水涼雅くんが優勝、同校6年の坂川晃寛くんが準優勝を納め、本町のこの大会での初の優勝となった。

この大会は全道のB&G海洋センターのある37町村の海事思想の普及及び親睦交流を深めることを目的に開催されているもので、剣道の部個人戦小学生の部には22名が出場した。

清水くんは「坂川くんとは決勝で一緒に戦おうと言っていた。優勝できる自信はあった」と、坂川くんは「いつもよりくやしい。やりずらかった」と述べた。

また、7月21日(土)稚内市で開催された第42回青少年剣道錬成大会の小学生高学年選抜男子の部で苦前小6年の能登雄大くん、中学生選抜男子の部で古丹別中3年の前川幹也くんがそれぞれ第3位となった。

能登くんは「優勝を狙っていたけど、これまでの対戦で疲れていた」と、一方



(右から) B & G北海道ブロックスポーツ交流交歓会で準優勝の坂川晃寛くん、同大会で優勝の清水涼雅くん、第42回青少年剣道錬成大会で第3位の前川幹也くん、同大会で第3位の能登雄大くん

の前川くんは「大きい大会で勝つことがなかったの、うれしい。準々決勝ではこれまで勝つたことのない選手に勝つたので、とてもうれしい」と述べた。

苦前剣道連盟事務局の竹橋広顕さんは団員の活躍に「6年生の3人は互いにライバルとして切磋琢磨している。また、前川くんもすばらしい能力の持っているので、今後が楽しみ」と期待を寄せていた。

## ホクレン旗争奪全道大会で苦前サンダース2回戦に勝利も、準々決勝で涙！

8月5日(月)から札幌市で開催されたホクレン旗争奪第31回北海道少年軟式野球選手権大会へ留萌管内代表として出場した苦前サンダースが2回戦から登場し、十勝支部代表の啓北ドジャースを9対8で下し、ベスト8入りを果たしたものの、準々決勝で渡島支部代表の谷川野球スポーツ少年団に0対8で敗れ、4強入りを逃した。

2回戦での試合は、3回表まで6対0で圧勝ムードも、時間切れとなる5回裏で8対8の同点に追いつかれ、無死満塁からの促進ルールで、6回表のサンダースの得点が1点止まり。しかし、その裏の相手の攻撃を0点に抑え全道1勝をあげた。

しかし、準々決勝は得点圏にランナーを進めるもあと1本が出ず、後半に相手チームに得点をあげられ完敗した。



## 新しい英語指導助手は日本語が上手！



これまで町内の小中学校・高校等で英語指導を行う英語指導助手のスペンサー・バーンズさんに代わり、ハイル・トーマス・ケンタロウさんが7月29日付けで着任した。

トーマスさんは、アメリカのロサンゼルス出身でスポーツをすることや観戦、映画鑑賞、スニーカー集めが趣味の22歳の青年。オクシデンタル大学を卒業後、2012年4月～8月まで東京国際大学に留学経験やアメリカの小学校で日本語を勉強していたということもあり、とても日本語が上手でだいたいの言葉は理解できる様子。

トーマスさんは苦前町の第1印象で「親切な人が多い」と感じたとのこと。また、これから本町の小学校から高校まで巡回し指導していくうえで児童・生徒に対しては、「すでに英語指導助手の仕事を経験してみて、子ども達はとても元気いっぱいなので、英語を教えるのは問題ない。ぜひアメリカの文化を教えたい」と述べた。

さらに、日本にいる期間中に「スノーボードをやってみたい」「日本での生活をしてみたい」などと期待に胸を躍らせているようだった。

トーマスさんは日本で生活した経験はあるが、まだ新たな生活に慣れていないことも多いので、皆さんもまちで見かけたらやさしい一言をかけてあげてください。

### 《トーマスさんのプロフィール》

国籍：アメリカ(ロサンゼルス)  
生年月日：1991. 4. 13 (22歳)  
好きな食べ物：  
ラーメン・餃子・ピザ  
苦手な物：漬け物・マヨネーズ

## 着任教員の紹介

### 苦前中学校



田中 正徳  
教頭  
(前任校)  
旭川市立六合中学校

【抱負】旭川市立六合中学校から赴任しました。初めて教頭として教育活動に携わります。苦前町の子どもたちのために頑張ります。よろしくお願いいたします。



古丹別ふるさとまつり 8月14日(水)

# 夏の終わりを楽しむように！



苫前ふるさとまつり 8月15日(木)

## あいにくの天気の中での夏祭り ～第3回古丹別商業部会夏祭り～



8月17日(土)、苫前町商工会前の古丹別西2条線特設会場で、第3回目となる古丹別商業部会夏祭りが開催された。

西裕正部会長は「天候には恵まれていないが、第3回目となる夏祭りの開催をうれしく思う。飲物や食べ物を楽しむ、催し物を楽しんで下さい」と挨拶した。

オープニングには古丹別中学校(前田雄校長)吹奏楽部と苫前商業高等学校(小笠原茂美校長)吹奏楽部が、夕方にはラテンジャズバンドイエマンジャーが出演し、途中から降り出した雨にも負けぬ演奏を披露した。

また、テレビなどの電化製品や生活用品が当たる大抽選会も行われた。

8月17日(土)、苫前町商工会前の古丹別西2条線特設会場で、第3回目となる古丹別商業部会夏祭りが開催された。

西裕正部会長は「天候には恵まれていないが、第3回目となる夏祭りの開催をうれしく思う。飲物や食べ物を楽しむ、催し物を楽しんで下さい」と挨拶した。

オープニングには古丹別中学校(前田雄校長)吹奏楽部と苫前商業高等学校(小笠原茂美校長)吹奏楽部が、夕方にはラテンジャズバンドイエマンジャーが出演し、途中から降り出した雨にも負けぬ演奏を披露した。

また、テレビなどの電化製品や生活用品が当たる大抽選会も行われた。

## 地域社会貢献事業

### ～まちの施設を整備していただきました～

### 町野球場の整備

株式会社東北建設

国道239号線苫前町維持除雪工事を実施している株式会社東北建設(菊池浩代表取締役)が、8月5日(月)に町野球場の整備を地域社会貢献事業で実施した。

グラウンドの整備をしていただいたお陰で、すっかり凹凸もなくなり様々な世代が野球を楽しむことができます。

ありがとうございました。



### ホワイトビーチ駐車場ライン引き 未来セフティ株式会社

未来セフティ株式会社(菅敏之代表取締役)が、7月19日(金)にとままえ夕陽ヶ丘ホワイトビーチ駐車場のライン引きを地域社会貢献事業で実施した。

ラインを引いていただいたお陰で、海水浴場の利用者が安心して駐車することができます。

ありがとうございました。



### テーブル&チェアの寄贈

社団法人留萌地方法人会苫前支部

社団法人留萌地方法人会苫前支部(渡部一男会長)が、7月11日(木)にイベント等で使用するためのテーブルとイス14組を地域社会貢献事業として町観光協会(千葉國雄会長)に寄贈した。

お陰で、風車まつりや各地区のふるさとまつりなどのイベントで多くの人がつろぐために使用していただけます。

ありがとうございました。

